

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら豊田大林教室			
○保護者評価実施期間	2025年10月22日 ～ 2025年 10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児発16名 放デイ32名	(回答者数)	児発16名 放デイ32名
○従業者評価実施期間	2025年10月22日 ～ 2025年 10月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	17名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室の広さ スペースの広さ 教室内をキレイに保っている イラストや文字を用いた視覚的支援 壁面装飾の充実	仕切りなどをつかって空間を利用している 動的空間、静的空間を机や仕切り、棚などを使って視覚的に分かりやすくしている。 修繕をこまめに行っている イラストを増やしお子様の注意を引く	ついたてなどを用意する 無駄なく全体を使ったプログラムを企画 整備をしっかりとしていく 壁面装飾は毎年ブラッシュアップする
2	プログラムの充実 季節を配慮した内容	毎年ブラッシュアップしながら、計画を立てている。 飽きが来ないように、スタッフで担当別に工夫している 公式LINEで毎月公開している 各教室のプログラムも参考できるように発表の場を作っている	支援プログラムに照らし合わせながら組み立てていく プログラムの意図などをスタッフ全員が理解して行う。 どのスタッフでも行えるよう指示書、企画書を作成 様々なツールを用いてあらゆる視点からのプログラム作り
3	ツールを用いて充実した支援計画と実施 専門支援実施など積極的に取り組んでいる 保護者向けイベントの開催	全ての支援計画をAIツールを参考に作成。あらゆる方面を網羅した内容になっている。 保護者様にも分かりやすいアセスメントシートとなっている。 保護者向けイベントにより保護者様との関わりが増えている	すべてのお子様にそれぞれの支援も組み合わせしていく 参観日を増やし、保護者様との関わりをもっと増やす 開けた教室作り

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員が不足していると感じる事が多い 送迎で人が不足する時間帯がある	十分な人員は確保できているものの、不足と感じてしまう 送迎に負担がかかっている	落ち着いて業務が行えるよう、スタッフ1人1人のスキルUPが必要 無理な送迎は行わない、療育が優先、送迎の縮小 保護者様による送迎もお願いしていく 社員の確保
2	マニュアル各種の存在が一部周知されていない 新規職員への周知ができていないことが多い	LINEなどで情報共有はしているが、それでも不足 慣れから、確認などが行われていないこともある 研修のやり方	新規職員の研修内容に追記 内容についても説明する場を設ける
3	他施設、外部などの情報共有、関わりが薄い	送迎時などゆっくりお話をする機会がない	連携をしっかりとって、移行をしっかりと進める 送迎時にできるだけ情報収集をする イベントにも参加したり、してもらったりする